



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月29日

上場会社名 株式会社 MonotaRO
 コード番号 3064 URL <http://www.monotaro.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 鈴木 雅哉

問合せ先責任者 (役職名) 執行役管理部長 (氏名) 田中 秀和

TEL 06-4869-7190

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	24,587	18.3	3,004	41.6	3,020	40.8	1,810	46.4
24年12月期第3四半期	20,782	30.3	2,122	32.7	2,145	31.6	1,237	34.4

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 1,819百万円 (46.7%) 24年12月期第3四半期 1,239百万円 (34.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	29.87	29.20
24年12月期第3四半期	20.69	20.08

(注) 当社は、平成25年4月23日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しており、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の金額は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	13,160		6,836			51.4
24年12月期	11,265		5,588			48.7

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 6,768百万円 24年12月期 5,489百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	8.00	—	8.00	16.00
25年12月期	—	6.00	—		
25年12月期(予想)				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成25年4月23日付で普通株式1株を2株の割合で株式分割を実施しており、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の平成24年12月期の中間配当金及び期末配当金はそれぞれ4円、年間配当金は8円に相当いたします。

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,104	18.7	3,768	28.8	3,789	28.9	2,253	33.4	37.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日公表しております「業績予想の修正および特別利益、特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照下さい。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) NAVIMRO Co.,Ltd. 、除外 1社 (社名)

(注)当四半期連結累計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の有無となります。
なお、詳細につきましては、添付資料の3ページを参照してください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期3Q	61,250,400 株	24年12月期	60,860,000 株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	532,026 株	24年12月期	524,340 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期3Q	60,635,069 株	24年12月期3Q	59,784,660 株

(注)当社は、平成25年4月23日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しており、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は添付資料の3ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(当期の経営成績)

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導の経済・金融政策の影響とその期待感から、円安・株高が進む展開となり、輸出関連企業を中心とした企業マインドの好転により、一部で景気回復の兆しが見え始め、公共投資も復興需要や緊急経済対策の効果から増加し、全体としては、穏やかながらも着実な景気回復基調で推移いたしました。

一方、当社グループが主として販売する工場用間接資材業界におきましては、一部業種の国内生産活動が回復傾向にあるものの、主たる販売先である製造業全体の回復ペースは鈍く、一進一退の動きとなっており、今後の景気刺激政策による景気好転が期待されております。

このような経済環境のなか、当社グループは、データマイニングツールを活用した効率的なファクシミリやダイレクトメールによるチラシの発行、インターネットを使った広告など、引き続き積極的なプロモーション活動を展開しました。さらに、昨年11月にねじ・ボルト関連の取扱いアイテム数350,000点超という国内最大級の品揃えを実現したことに伴い、本年3月にこれのなかから特に厳選した約15,000点の商品を掲載の「ねじ・ボルトカタログ Vol.1」を新規に発行しました。加えて本年9月には、取扱いアイテム数500万点突破を実現させ、あらゆる業種のあらゆる間接資材をワンストップでご購入いただける環境を一層充実させ、顧客の幅広い要望に対応すべく、顧客の利便性向上と間接資材購買の効率化サポートに積極的に取り組んでまいりました。このほか、販売面では、日替わり特価や各種キャンペーンの実施など、顧客の購買意欲の高揚策も積極的に行ってまいりました。これらの施策を実施したことにより、当第3四半期連結累計期間中に167,679口座(注)の新規顧客を獲得することができ、当第3四半期連結会計期間末現在の登録会員数は、1,059,841口座(注)となり、100万口座突破を達成いたしました。

なお、本年1月に連結子会社でありました株式会社K-engineは、当社が保有する全株式を譲渡したことに伴い、連結の範囲から除外しております。また、本年1月に韓国において、当社全額出資で子会社を設立し、連結子会社として、4月から本格的に事業を開始しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は24,587百万円(前年同期比18.3%増)となりました。

一方、利益面では、出荷量の増加に伴う物流部門を中心とした人員増加による人件費の増加や新規顧客獲得促進等によるプロモーション費用の増加はあったものの、売上総利益の増加で十分吸収できたため、営業利益は3,004百万円(前年同期比41.6%増)、経常利益は3,020百万円(前年同期比40.8%増)、四半期純利益は、販売商品の自主回収による特別損失の計上があったものの、この商品の製造業者からの賠償金や子会社株式売却による特別利益の計上もあり、1,810百万円(前年同期比46.4%増)と増益を達成することができました。

(注) 口座数は単体の数値であります。

事業の品目別の業績概況は、次のとおりであります。

①工場消耗品

作業工具、スプレー及び手袋等の売上が堅調に推移した結果、売上高は9,965百万円(前年同期比14.5%増)となりました。

②工場交換部品

物流・保管用品、制御機器及びコンプレッサー等の売上が好調に推移したほか、自動車アフターマーケット向け自動車整備・トラック用品の売上が大きく寄与し、売上高は9,805百万円(前年同期比22.0%増)となりました。

③その他

科学研究・実験器具、オフィス用品等の売上が堅調に推移し、売上高は4,816百万円(前年同期比19.2%増)となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して1,894百万円増加し、13,160百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末と比較して1,342百万円増加した結果、11,451百万円となりました。流動資産が増加した主な要因は、現金及び預金の増加479百万円、売掛金の増加322百万円及び貯蔵品の増加351百万円です。固定資産は552百万円増加して1,708百万円となりました。主な増加要因は差入保証金の増加295百万円です。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して647百万円増加し、6,324百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末と比較して405百万円増加した結果、5,985百万円となりました。流動負債が増加した主な要因は、未払金の増加218百万円及び商品自主回収関連費用引当金の増加149百万円です。固定負債は241百万円増加して338百万円となりました。主な増加要因は長期借入金の増加179百万円です。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して1,247百万円増加し、6,836百万円となりました。これは主として四半期純利益1,810百万円及び配当金の支払605百万円などによるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は前連結会計年度末と比較して2.7ポイント増加し、51.4%となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における業績の進捗等を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成25年1月29日の当社「平成24年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました平成25年12月期の通期の連結業績予想を修正いたしました。当該予想に対する詳細は、本日（平成25年10月29日）公表いたしました「業績予想の修正および特別利益、特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、新規設立したNAVIMRO Co., Ltd. を連結の範囲に含めております。なお、第1四半期連結会計期間に株式会社K-engineの全株式を譲渡し連結の範囲から除外しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,925,592	3,405,435
売掛金	2,868,409	3,191,189
商品	2,892,239	2,964,206
未着商品	142,835	122,925
貯蔵品	112,872	463,987
未収入金	1,021,414	1,063,627
その他	173,667	264,109
貸倒引当金	△27,352	△23,763
流動資産合計	10,109,678	11,451,717
固定資産		
有形固定資産	171,324	277,631
無形固定資産	762,953	839,647
投資その他の資産		
差入保証金	136,168	431,410
その他	101,908	176,136
貸倒引当金	△16,298	△16,035
投資その他の資産合計	221,778	591,511
固定資産合計	1,156,055	1,708,789
資産合計	11,265,734	13,160,506
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,178,842	2,253,767
短期借入金	1,300,000	1,300,000
1年内返済予定の長期借入金	—	88,901
未払金	966,409	1,185,281
未払法人税等	844,575	688,335
賞与引当金	34,740	84,654
役員賞与引当金	24,663	10,433
商品自主回収関連費用引当金	—	149,333
その他	230,807	224,969
流動負債合計	5,580,039	5,985,676
固定負債		
長期借入金	—	179,564
役員退職慰労引当金	87,268	140,020
商品自主回収関連費用引当金	—	12,973
その他	9,598	6,255
固定負債合計	96,866	338,814
負債合計	5,676,906	6,324,490

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成25年 9 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,771,616	1,813,097
資本剰余金	576,154	617,634
利益剰余金	3,267,044	4,472,510
自己株式	△125,197	△143,063
株主資本合計	5,489,617	6,760,178
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	—	8,327
その他の包括利益累計額合計	—	8,327
新株予約権	68,077	67,510
少数株主持分	31,132	—
純資産合計	5,588,827	6,836,015
負債純資産合計	11,265,734	13,160,506

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	20,782,163	24,587,823
売上原価	14,983,936	17,117,027
売上総利益	5,798,227	7,470,795
販売費及び一般管理費	3,675,764	4,465,990
営業利益	2,122,463	3,004,805
営業外収益		
受取利息	62	504
為替差益	19,037	8,360
その他	17,067	20,575
営業外収益合計	36,167	29,440
営業外費用		
支払利息	9,413	8,774
たな卸資産処分損	2,707	3,149
その他	1,500	2,254
営業外費用合計	13,621	14,177
経常利益	2,145,009	3,020,068
特別利益		
子会社株式売却益	—	138,404
商品自主回収関連補償金	—	55,791
特別利益合計	—	194,195
特別損失		
固定資産除却損	42	6,573
商品自主回収関連費用	—	218,448
特別損失合計	42	225,021
税金等調整前四半期純利益	2,144,967	2,989,242
法人税、住民税及び事業税	934,840	1,328,761
法人税等調整額	△29,727	△150,493
法人税等合計	905,113	1,178,267
少数株主損益調整前四半期純利益	1,239,854	1,810,974
少数株主利益	2,799	—
四半期純利益	1,237,054	1,810,974
少数株主利益	2,799	—
少数株主損益調整前四半期純利益	1,239,854	1,810,974
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	8,327
その他の包括利益合計	—	8,327
四半期包括利益	1,239,854	1,819,302
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,237,054	1,819,302
少数株主に係る四半期包括利益	2,799	—

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

当社グループは、工場用間接資材販売業の単一セグメントであり、地域別においても国内事業以外の事業について重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。